

ごみが減らない問題③

【前回の改正前まで】

- ・1997年の容器包装リサイクル法により、国（厚生労働省）の意向に反して、事業者の「小型PETボトル自粛」の解禁が始まり、その後、更に拍車がかかりました！
- ・化粧品のガラスびんは、リサイクルに向かないので、容り法では、事業者の費用負担はありませんでした。
(⇒この批判に対して、一部の事業者が回収をはじめました)
- ・容器包装を選ぶ事業者に、「環境配慮設計義務」がほとんど働かないので、リサイクルに向かない「緑色PETボトル」の使用が、なかなか止みませんでした。
- ・更に、リユースの優等生である“ビール”でも、プラスチックボトルが使われそうになってしまったのです！

ごみが減らない問題④

【容り法改正後でも】

- ・ 容器包装を選ぶ事業者に、「環境配慮設計義務」がほとんど働かないので、リサイクルに向かない「マルチパック」や、有害物質を拡散する「鉛入レジ袋」が、登場してしまったのです。
- ・ さらに、ずいぶん前から、リサイクル困難物とされている「塩化ビニル製」が、未だに無くならないのは、制度の欠陥といえるのではないのでしょうか。

⇒市場原理だけでは、「消費者が望まず」「後始末に問題がある」ものが、事業者判断で導入されてしまいます。

「使い終わった後の処理責任を、事業者がきちんと負担する制度」の速やかな構築が、求められています。

【添付資料②】

市民の意識

『ごみ問題とリサイクルに関する仙台市民意識調査

(生活環境研究会)』より

『大分市ごみに関する市民意識調査(大分市)』より

リサイクル実行の問題点

『ごみ問題とリサイクルに関する仙台市民意識調査』より

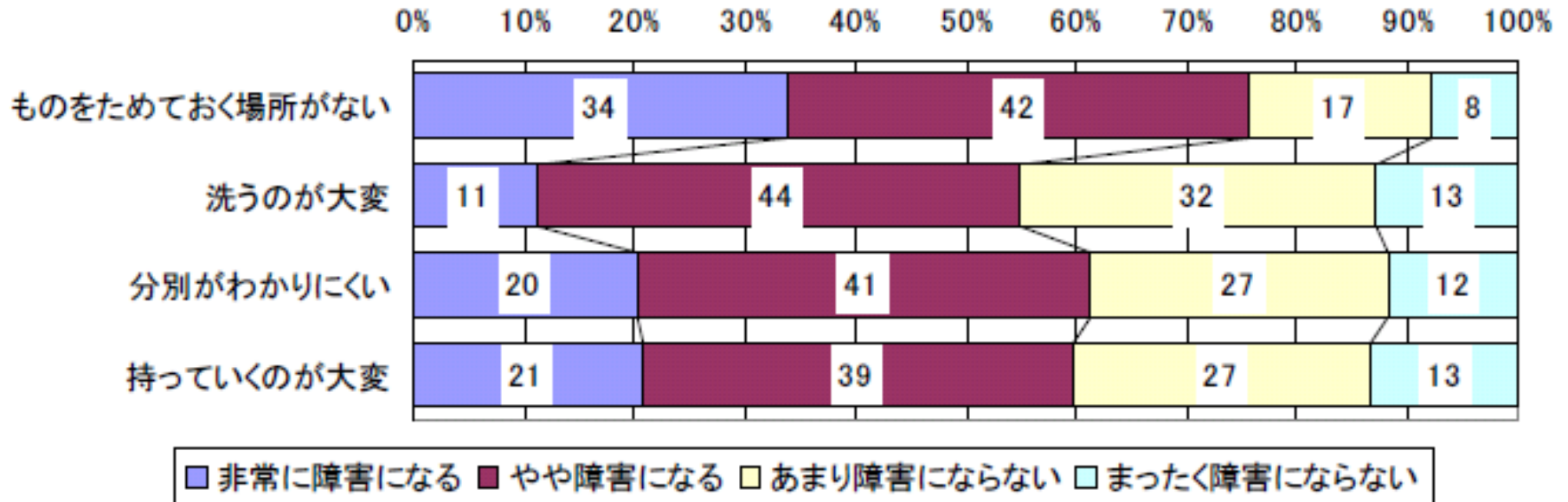


図4.5 リサイクル実行の問題点

参加の呼びかけとその反応

『ごみ問題とリサイクルに関する仙台市民意識調査』より

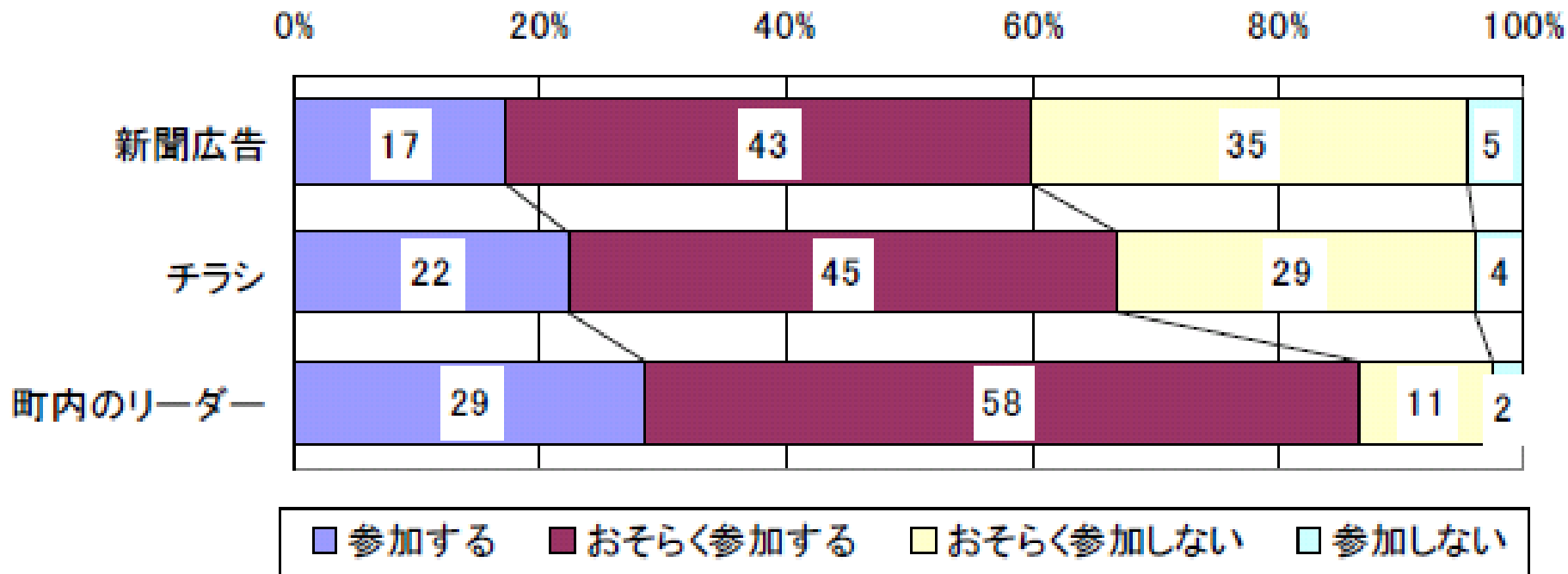


図4.7 リサイクル参加の呼びかけとその反応

リサイクル不実行の理由

『ごみ問題とリサイクルに関する仙台市民意識調査』より

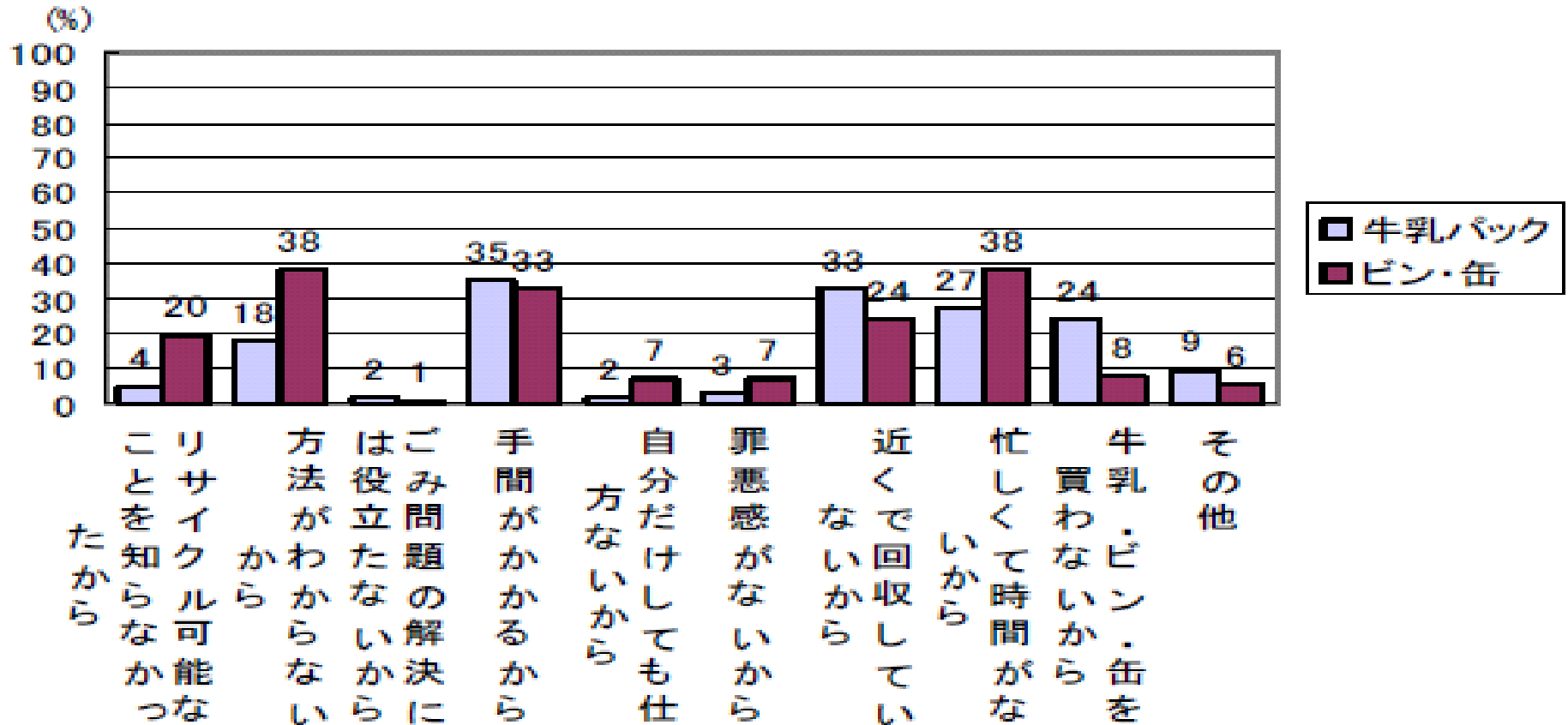


図3.5 リサイクル不実行の理由 (複数回答)

制度の変化と参加意思

『ごみ問題とリサイクルに関する仙台市民意識調査』より

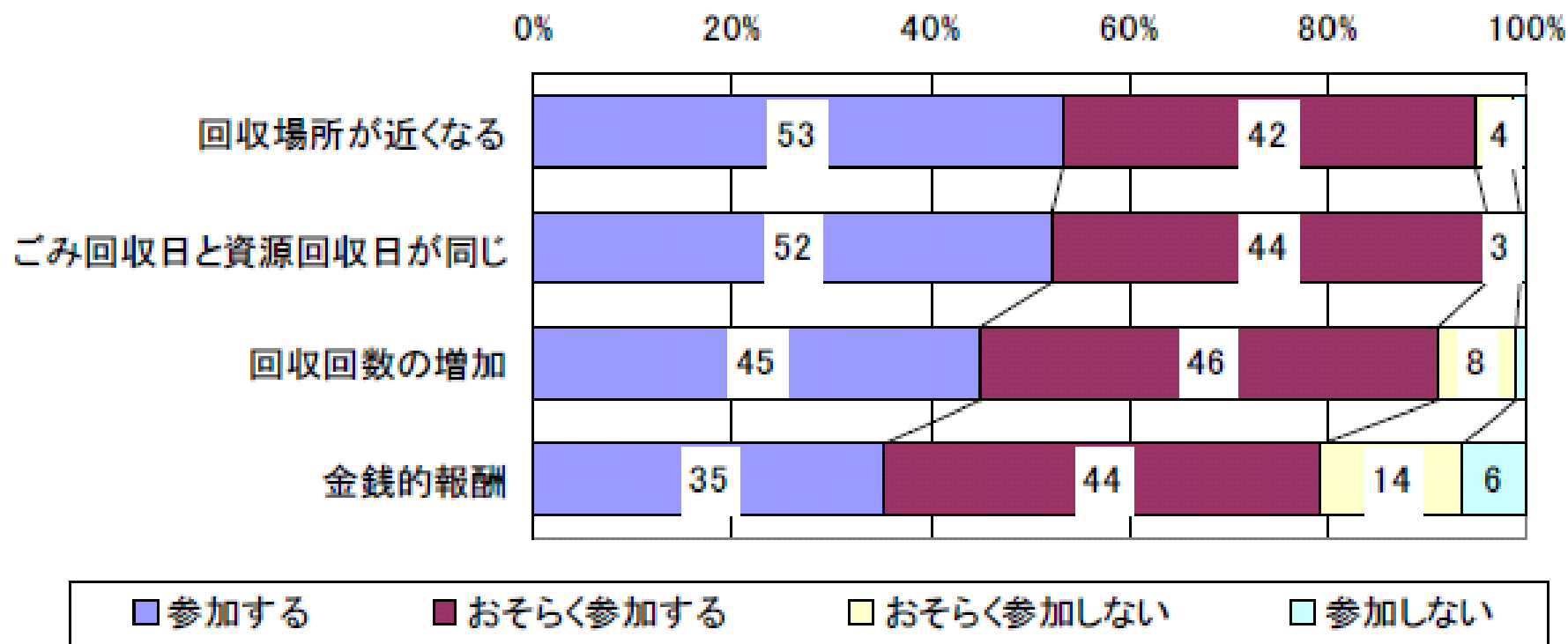


図6.1 制度の変化と参加意志

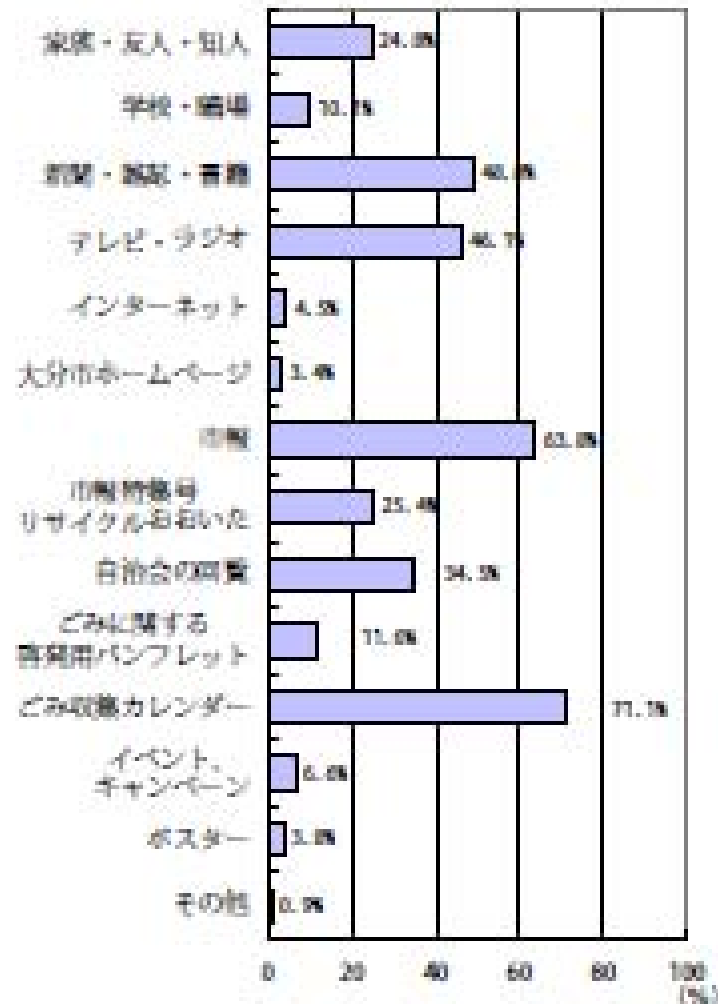
ごみ問題の知識情報源

『大分市ごみに関する市民意識調査』より

表 3-2-3 ごみ問題の知識情報源 (全体)

項目	回答数	回答者に対する割合
家族・友人・知人	1,096	24.8%
学校・職場	449	10.1%
新聞・雑誌・書籍	2,161	48.8%
テレビ・ラジオ	2,042	46.1%
インターネット	200	4.5%
大分市ホームページ	151	3.4%
市報	2,824	63.8%
市報特撮号 リサイクルおおい	1,126	25.4%
自治会の周知	1,528	34.5%
ごみに関する啓発用 パンフレット	514	11.6%
ごみ収集カレンダー	3,147	71.1%
イベント、キャンペーン	292	6.6%
ポスター	167	3.8%
その他	41	0.9%
回答者数	4,427	

図 3-2-3 ごみ問題の知識情報源 (全体)



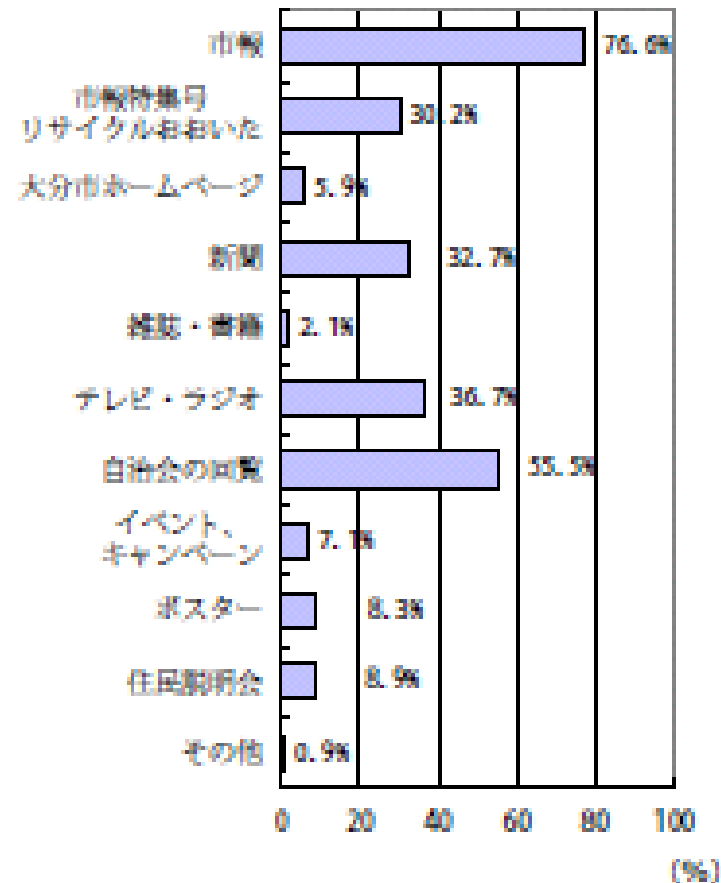
リサイクル情報の受信について

『大分市ごみに関する市民意識調査』より

表 3-2-4 ごみ問題の情報
発信方法（全体）

項目	回答数	回答者に対する割合
市報	3,421	76.6%
市報特集号 リサイクルおおいた	1,348	30.2%
大分市ホームページ	262	5.9%
新聞	1,459	32.7%
雑誌・書籍	92	2.1%
テレビ・ラジオ	1,639	36.7%
自治会の回覧	2,478	55.5%
イベント、キャンペーン	318	7.1%
ポスター	370	8.3%
住民説明会	398	8.9%
その他	41	0.9%
回答者数	4,468	

図 3-2-4 ごみ問題の情報
発信方法（全体）



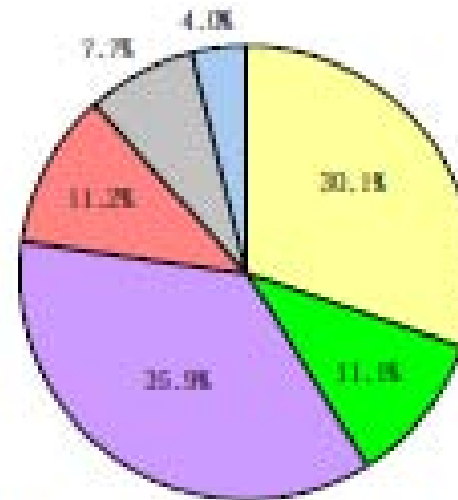
ごみ有料化反対理由

『大分市ごみに関する市民意識調査』より

表 3-5-3 ごみ有料化
反対理由（全体）

項目	回答者数	回答者に対する割合
ごみの不法投棄につながるおそれがあるから	625	30.1%
本当にごみの減量や分別の徹底につながるかが疑わしいから	230	11.1%
家計への負担が増えるから	344	35.9%
ごみの減量には啓発や分別の徹底など、有料化以外の手段で対応できると思うから	232	11.2%
もともと市が負担しているのだから、市民が負担すべきではない	160	7.7%
その他	82	4.0%
合計	2073	100.0%

図 3-5-3 ごみ有料化
反対理由（全体）



- ごみの不法投棄につながるおそれがあるから
- 家計への負担が増えるから
- もともと市が負担しているのだから、市民が負担すべきではない
- 本当にごみの減量や分別の徹底につながるかが疑わしいから
- ごみの減量には啓発や分別の徹底など、有料化以外の手段で対応できると思うから
- その他

【添付資料③】



Rドロップス

Rドロップス2紹介パンフレット

Rドロップスに思いをのせて

メッセージ Bn再使用ネットワーク代表幹事 中村 秀次

ビールびん、お酒のびん、飲料のびんなど、繰り返し使うことで環境に大きく貢献しているリユースびんですが、今、急速に本数が減少しています。このままでは日本からリユースびんの姿が消えてしまいます。まさに「絶滅危惧種」となっています。「絶滅しないぞ」と歯を食いしばって頑張っている方々が、全国清涼飲料工業会にご参加のボトラーさんたちです。一方、若者たちが、市民たちが、「絶

滅の危機から救おう」と立ち上がって誕生したのが「Rドロップス」です。この度、全国清涼飲料工業会、ボトラー、市民団体等のご協力で、すぐにでも「商品化」できるRドロップス第2号の設計図ができました。これを文字通り「飲に強い缶」に終わらせないように、皆様のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

メッセージ 社団法人 全国清涼飲料工業会 専務理事 公文 正文

(社)全国清涼飲料工業会では、容器包装に関するR(リデュース・リユース・リサイクル)推進自主行動計画に基づき、積極的に活動を行っています。また、リユース推進活動の一環として、リターナブルガラスびんによる産地産物製品の普及を目的とした「地サイダー用共通リターナブルびん」を開発し、全国各地での販路を開いています。今回のRドロップスプロジェクトへの参加にあたっては、生産者の立場から、Rドロップス2号が多くの

清涼飲料生産者で容易に取り扱える容器となるよう、当工業会同社の協力を得て、様々な工程の実験把握を行いました。ボトル設計に際しては、これらのデータが十分に反映されており、充填適性の高いボトルが実現できたのではないかと考えています。今後、消費者・流通業の皆様を始めとして多方面の方々のご協力をいただき、このRドロップス2号が大きく普及していきますことを期待いたします。

メッセージ Rびんプロジェクト 代表 西村 優子

「Rドロップス」はそのデザインや名称を含め、アンケートやテスト販売など学生や市民も一緒に開発した経緯をもつ画期的なリユースびんです。ガラスという素材が安心な上、環境負荷が低く、処理費用に資金をつかわない・・・そんな容器の優等生であるリユースびんが滅び続けている現状を打開してくれる可能性を秘めています。開発に際した学生たちが、リユースびんの普及に強い関心をもつようになったことを見ても期待が持てると感じています。

今回複数の事業者の方々からアドバイスを受け、より流通しやすいように改良された「Rドロップス第2号」が誕生しました。これによってリユースびん入りの飲料が認知され、より多く流通するようになれば、若者たちが手に取ることも珍しくなくなるかもしれません。くり返し使えば使うほど、CO₂を減らせるリユースびん・・・「Rドロップス」よ、はばけ！私たちの真に豊かな未来の実現に向かって！

参加協力者

(社)全国清涼飲料工業会/公文 正文 専務理事、久保田 肇 中小企業部担当部長
 (株)コダマ飲料/池澤 支那 代表取締役社長、(有)戸田乳業/戸田 喜春 代表取締役、東京飲料(有)/寺田 謙夫 代表取締役
 新食工業(株)/石川 浩三 代表取締役、大学生協東京事業部/関口 晴美 キャンパスライフ事業部部長
 全国びん再利用協会/田村 豊也 副会長、笠井 仁志 副会長、(株)吉川商店/吉川 康彦 代表取締役
 東洋ガラス(株)/青野 孝憲 営業企画部長、仲田 晃 営業企画部企画開発課長、村井 幸嗣 営業企画部企画開発課主任代理
 八百中 玲 営業企画部デザイナー、リターナブルびん普及プロジェクト/西村 優子 Rびんプロジェクト代表
 Bn再使用ネットワーク/中村 秀次 代表幹事、寺嶋 英介 幹事役員、山本 美菜 事務員

|| Rドロップスについてのお問合せ先 |

(社)全国清涼飲料工業会 〒103-0022 東京都中央区日本橋9町3丁目3番3号CMビル3F ☎03-3270-7300 <http://www.jsda.or.jp>
 Bn再使用ネットワーク事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-24-20 webship 東新館6F ☎03-5285-1883 rbn@bnnet.org

"Rdrops" NEW RETURNABLE GLASS BOTTLE PROJECT

Rドロップス NEW RETURNABLE GLASS BOTTLE PROJECT

スタイリッシュなリユースびん「Rドロップス」導入ご検討資料

 充填先の
ライン適性を確認して
設計しました。

 炭酸飲料も
充填OK!

Rドロップスと
お揃いの
栓抜きも
企画中!



びん再使用ネットワーク
(社)全国清涼飲料工業会

Rドロップス2紹介パンフレット

Rドロップスの設計と ご検討にあたって

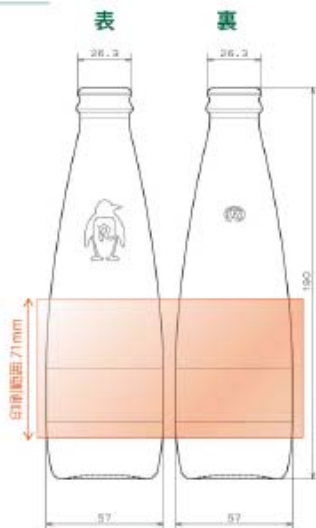


1. 設計

- びん種：リユースびん
- 容 量：(満量) 220 ~ 230ml
- 質 量：245 ~ 280g
- L 値 (びん軽量度)：1.60 ~ 1.95
- 炭酸飲料の充填：可
 - ※容量・びん質量の設定は、現段階では絞り込んでおりません。
 - ※ガス圧・充填条件による、内容物の充填可否の確認は別途、必要となります。

2. 留意事項

- Rマークびん
「Rドロップス」は汎用型のRマークびんを想定しています。(びんを再使用することが前提となります。)
- 金型手配
「Rドロップス」のびん金型は、お客様の採用が正式に決まってからの手配となります。金型費用等は、別途、ご相談となります。
- びん製造ロット
びんの最小生産本数は、基本的に1日生産分となります。



【Rドロップスデザイン室】

※上記デザインは案であり、寸法は確定したものではありません。

適合クレートサイズについて

- 「Rドロップス」は、実際にリユースびんで多く使用されているクレート (P箱) のサイズを考慮して設計しています。
- 以下の仕様のクレートであれば、「Rドロップス」にそのままご使用頂ける予定です。



- クレートサイズ協力企業名 (順不同)
(株)コダマ飲料、キンキサイジ(株)、(資)森川飲料、中京サイン(ボトリング)協業組合、東京飲料(資)

Rドロップス栓抜きもデザイン!

「Rドロップス」を王冠口で設計するにあたり、ツールとして「Rドロップス栓抜き」をデザインしてみました。

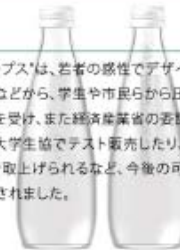
- 「Rドロップス」と併せて、こちらにも検割頂く事が可能です。
- 詳細はびん再使用ネットワークまでお問い合わせ下さい。



きわぬき
極抜き

①「Rドロップス」とは

- 「Rドロップス」とは、2007年、びん再使用ネットワークが環境活動に取り組む学生やごみ問題の解決を目指す市民団体のメンバーらと一緒に開発した「軽くて、持ちやすく、スタイリッシュで、携帯可能な“新しいリユースびんのこと”、R (ある)ドロップス」という愛称も大学生が考えたものです。
- 「Rドロップス」は、若者の感性でデザインを優先したことなどから、学生や市民らから圧倒的な支持・共感を受け、また経済産業省の委託事業として3つの大学生協でテスト販売したり、政府の広報番組で取上げられるなど、今後の可能性が大きく期待されました。



②<第2号> 開発の経過

- ところが、「デザイン優先」ということが逆に現在の設備で使用できる事業者が限られてしまい、実際に事業展開の検討を深めてみると、「消費者は欲しいけれども事業者が使えない」という「壁」に立ち行かなくなりました。
- このため、2009年1月、(社)全国清涼飲工業会の協力を得て、「Rドロップス<第2号>開発プロジェクト」準備会を立ち上げ、「Rドロップス<第1号>」の趣旨を活かしながらも、現在の事業者の生産ラインで使用できるびん形状のデザイン化を目指して開発しました。

③王冠を選んだ理由と栓抜きについて

- 「Rドロップス<第2号>」の開発にあたり、もっとも悩んだのは、びん口部です。というのも、<第1号>はリキップできる「スクリュウ」タイプでしたが、スクリュウタイプのびんを再使用する場合、マシンによるびん口検査をしなければならず、事業者に大規模な設備投資が必要になってしまうからです。
- このため、今回は、現在の事業者の設備で使えることを優先し、<第2号>では「王冠」仕様を選択することとしました。



- なお、Rドロップスとお揃いの「栓抜き」も企画中です。この栓抜きは、びん口部を傷つける事なく容易に王冠をはずせるよう特別にデザインされたもので、おしやれで、しかも栓抜きの技能が追求されたものとなっています。

④今後について

- 「Rドロップス<第2号>」を使ってみてほしいという事業者や、「Rドロップス<第2号>」で飲みたいという消費者をどんどん増やして、実導入を進めることが目標です。

ではなく、今後、「Rドロップス<第2号>」が普及し、将来的にリユースがあたり前の社会になれば、「Rドロップス<第1号>」の普及にチャレンジしたいと思っています。

尚、「Rドロップス<第1号>」を諦めたわけ